



玉名市立小田小学校

玉名市上小田371番地
(0968-72-3314)
児童数48人 学級数5
校長 山下 徹



玉陵中学校区教育目標

意思 創造 協力 希望
(つよく かしくく なかよく あかるく)

玉陵中学校区でめざす子ども像

- 希望する進路に向け、主体的に確かな学力を身に付ける児童・生徒
- 自他を大切にし、思いやりのある心豊かな児童・生徒
- 心身ともに健康で、生涯にわたって運動に親しむ児童・生徒



小田の宝は小田小学校

参加率100%のPTA総会



参加率100%のPTA愛校作業



OBもかけつけてくださいます



小田校区の皆さんは、学校や子どもたちを本当に大切にしてください。

PTAの行事は、参加率100%!愛校作業には緑風会(老人会)が自主的に応援してください。

そのような大人の姿を見て育った子どもたちは、みんなのために働くことや次の世代をかわいがることを知っています。

そこで、今年度は縦割り班での掃除やボランティア活動等を企画し、できるだけ子どもたちに任せて、見守っています。活動をとおして、自分や仲間や学校や地域を、もっともっと好きになってほしいと願っています。

地域の宝は子どもたち



学校教育目標

自ら学ぶ意欲をもち 目標に向かって 心豊かに輝く子どもの育成

目指す学校像

小田小で学んで、小田小に通わせて、
小田小に勤めてよかった と言える学校

目指す児童像

～凡事徹底～

当たり前のことが当たり前に見える子ども



教育実践 ～少人数・複式学級を「強み」にする～



玉陵中学校区共通実践事項の一つに学習規律の徹底があります。小田小では、年度始めに「学びの約束集会」を実施し、全校児童で確認し合いました。授業中も「ピンパタジー」「ハイッ」がよくできています。



複式学級では、先生が別の学年を指導している間、自分達だけで学習を進める必要があります。小田小では、低学年でも「学習キャプテン」をリーダーとした主体的な学習ができるよう実践的研究を重ねています。

また、少人数でも、多様な考えを持ち、分かりやすく伝え合う力を身に付けるために、学び合いの学習を大切にしています。

挑戦★輝き★一歩前進

今年のスローガンは、「挑戦(チャレンジ) ☆輝き☆一歩前進」です。小田小では、日々の努力や友達への優しさ、学校への貢献などに対して、学校長から「輝き賞」を贈っています。

少人数だからこそ全校児童に大きな出番があり、活躍できる場がある本校での生活を通して、自分のよさや努力することの素晴らしさに気づいてほしいと願っています。

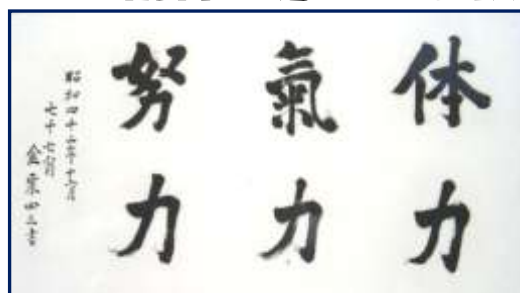


金栗四三先生は、オリンピックストックホルム大会（第5回）に日本人として初めて出場された2年後、小田の池部家の養子となりました。その後、第6回のベルリン大会は第1次世界大戦のため中止となりましたが、金栗先生は、第7回アントワープ大会、第8回パリ大会にも出場され、「日本マラソンの父」と呼ばれています。

第一線を退かれてからは、学校の運動会等にも来賓として、たびたび来られていたそうです。緑風会（老人会）の皆さんは、まるで親戚のお話でもされるように、いつも懐かしそうに当時の話をされています。

小田小学校には「金栗博物館」があり、親族の方から寄贈された貴重な資料をいつでも見ることができます。自慢です。

金栗精神が息づく学校



金栗先生直筆の書（本校玄関に掲示）